

北海道浮魚ニュース

平成 23(2011)年度 6 号

2011 年 6 月 29 日

道総研水産研究本部

中央水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎道南日本海スルメイカ調査結果（金星丸：6/21～6/27 の調査）

本調査は、前年度から金星丸による調査を行っています。

分布密度は前年よりやや低く、外套長は前年より小型

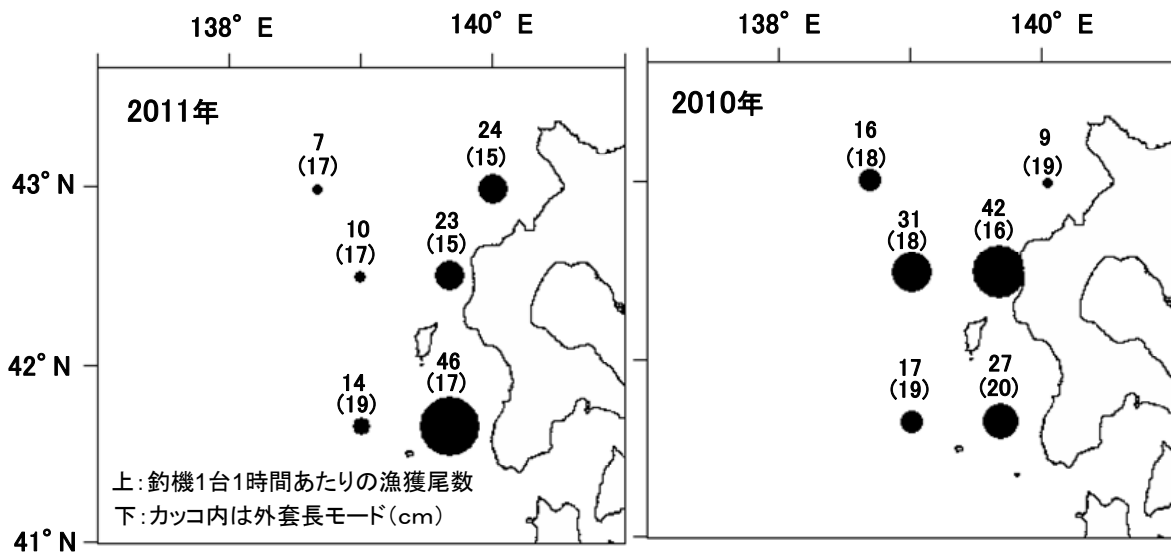


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

※モードとは各調査点で最も多く漁獲されたイカの大きさのことです。

①スルメイカの分布密度

各調査点におけるスルメイカの分布密度（CPUE：自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数）は 7～46 でした（図 1）。松前沖（46）が最も CPUE が高く、積丹半島沖合域（7）が最も低くなっていました。調査全体の平均 CPUE は 21 で前年（24）をやや下回りました。

②魚体サイズ

各調査点におけるスルメイカ外套長のモードは 15cm から 19cm で（図 1）、瀬棚および岩内湾沖の調査点が 15cm と一番小さく、奥尻南西沖が 19cm と一番大きくなっていました。調査海域全体では、16～17cm が多く、モードは 16cm と前年（19cm）より小さくなっていました（図 2）。20cm を超えるスルメイカは、前年よりも少なくなっていました。

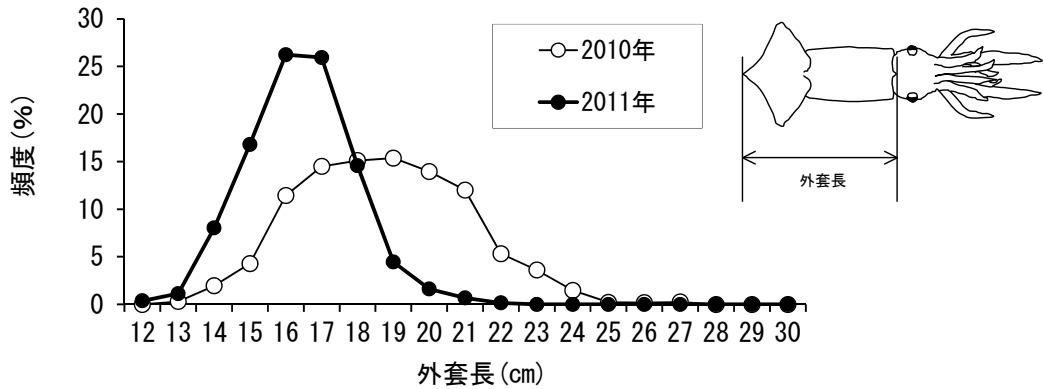


図2 調査海域全体の外套長組成

③水温分布

調査海域の50m層水温は、4.8～11.5℃（前年：3.6～11.2℃）でした（図4）。奥尻南西沖で前年より2℃程度低くなっていました。沿岸域はほぼ前年並みの水温でした。調査海域の表層水温は13.1～17.1℃と前年（16.0～20.2℃）よりも低くなっていました。

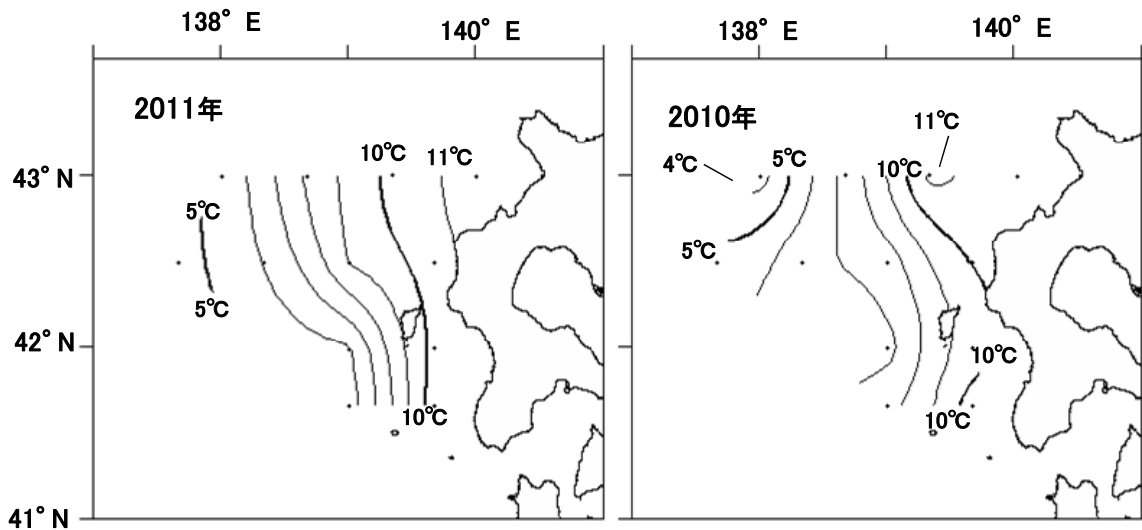


図3 6月下旬の50m層水温

④標識放流

3調査点で合計2,694尾のスルメイカに標識をつけて放流しました（図5、表1）。標識は裏面にJPNと記載されている「黄色アンカータグ、J00-J28」です。標識のついたスルメイカを再捕された方は、お近くの水産試験場までご報告いただきますよう、よろしくお願いいたします。

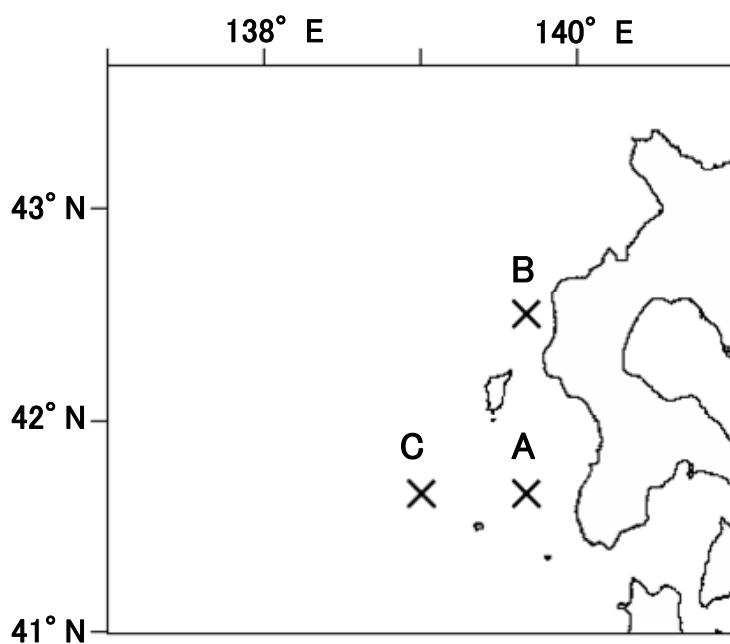


図 4 標識放流地点

表 1 標識放流位置情報

No.	放流位置	放流尾数	標識種類	標識番号
A	41-40N 139-40E	1,500	黄色アンカータグ	JPN-J00~J14
B	42-30N 139-40E	700	黄色アンカータグ	JPN-J15~J21
C	41-40N 139-00E	494	黄色アンカータグ	JPN-J22~J28

(文責:中央水産試験場資源管理部, TEL:0135-23-8707, FAX:0135-23-8709)